

ご挨拶



彩企業年金基金
理事長 **北林 辰哉**
(株式会社 丸一)



事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、7月16日に開催された第8回代議員会にて、2018年度の事業報告、決算等の審議事項にあたり承認をいただきました。設立以後順調な運営を維持できましたことも、偏に事業主さま、加入者さまの温かい御厚情の賜物と深く御礼申し上げます。

内閣府の発表によりますと、国内景気は現状、輸出や生産の弱さが続いているものの、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されます。しかし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

10月に予定される消費税増税の他に「骨太方針2019」「成長戦略実行計画」の実行や「全世代型社会保障制度」実現のための制度改革など、今後の政策が国内経済に影響を与えることが予想されます。当基金といたしましては、皆さまの給付を守り、老後の生活を支えられるよう、より一層健全な運用と運営に努めてまいります。

平成から令和に元号が変わり、新しい時代を皆さまと共に迎えられたことを大変嬉しく存じます。これからの時代が希望に満ちたものになるよう、当基金は今後も事業主さまの更なる発展とそこで働く皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、一層業務に邁進する所存でございますので、どうかこれまで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。

